

国鉄「分割・民営化」反対！三里塚二期工事阻止！

関川前委員長の愛した勤労千葉の発展を！

前号に続き、九月二四日に行われた、
掲載します。

労働者の師として
意志を引き継ぐ

鈴木幸司氏



三里塚反対同盟からは鈴木幸司氏、山町謙が代表として追悼のことばを述べ「9・16東峰十字路裁判の『三君を守る会』の代表をお願いするため伺った。ふたつ返事でひきうけてくれて全国から二〇万の署名をいただいた。労働者の師としての意志を引き継ぐ」と勤労千葉と反対同盟のゆるぎない団結を語った



東京実行委員会の長谷川英憲世話人は「関川さんには二つの功績がある。①勤労『本部』の妨害にうちかち、反対同盟との団結を守り勤労千葉を指導した、②勇気をもって勤労千葉の独立をかちとったこと。本当に労働者魂の人であり、国鉄労働者としての帽子とナックル服のにあらう人でした。三里塚で話している時が真骨頂だったと思う」と関川前委員長の勇姿を語った。



部落解放同盟荒本支部・瀬川博支部長は「四年前の東大阪市議選で応援にかけつけてくれた。勤労千葉を見習い、三里塚の実力闘争を身につけ今も闘っている」と実力闘争の正しさを語った



顧問弁護士から清井礼司弁護士が発言し「勤労千葉独立後も一四〇〇で数万の暴力集団にうちかちてきた真の力こそ関川さんの厳しさとやさしさにあったと思う。若い人に地本時代からのことをもう少し話してくれたらと思つたと話した。

ムーちゃんと呼ばれて

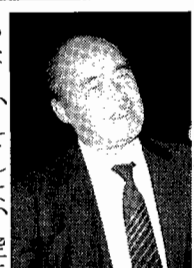
藤崎 保氏



友人からの追悼のことばに移り、まず、成田市民軽音楽団の藤崎保氏

「故関川幸前委員長追悼集会」の報告を

は「長い間兄弟付合いをし、かわいひ弟でした。先輩、同僚からは『ムーちゃん』としたわれ、後輩は、『酋長』と呼んでいた。練習で怒った時、夜中に玄関前に立ち『許しが出るまで帰らない』と大粒の涙を流したのを覚えている」と昔からの関川前委員長を語った。



学生時代からの友人である霜坂義一氏は「ムーちゃん以外呼んだこともなく、それは、空気みたいで離れていてもそばにいても少しも気持ちが変わらないムーちゃんだった。今も写真を見るとそこにムーちゃんがいる感じた」と真友として関川前委員長を語った。

追悼集会を期に
勤労千葉の発展を
— 宍戸良一OB会会長 —



勤労千葉組織内からの追悼に移り、まず、宍戸良一OB会会長は「労働運動に身を投じて先輩を追い越し七年で委員長になったのは、本当に彼の力量がrippであったということだ。追悼集会を期に中野委員長を中心に勤労千葉が発展することを祈念します」と運動面での関川前委員長を語った。



支部を代表して勝浦支部の鶴岡直芳支部長は「七三年以来、勤労『本部』との闘いがエスカレートする中でつねにその柱として、闘志を内に秘め独特の口調で組織をまとめた指導力は、組合員の節々の危急を救ってくれた」と組合員からの感謝をこめて語った。



出身の成田支部から、まず、支部家族会の大須賀シズ子会長は「今こ

こで喉を閉じると『頑張ってくれ』と肩を叩いてくれた姿が目につかなくて、いかなる時でも正義を曲げず貫き通す強い信念を持ち、委員長として大変な仕事を務められ組合員、家族の心の礎となられた」と残された家族を励ますことばを述べた。



一人ひとり思いをこめて菊の花をそなえ、冥福を祈った。関川前委員長の分まで闘いぬこう！



成田支部の高柴康副支部長は「八〇年のジェット燃料の拒否から阻止攻撃を粉碎せよ！の時、支部において一人ひとりに熱意をもって説明し、この熱意に感動した。成田支部は小さくなったが勤労千葉の先頭陣で闘う」と決意を明らかにした。

充実した人生でした

— ケイ夫人 —

各界からの追悼のことばが終了した後、メッセーが紹介され、そして、参加者全員により献花が行われ、関川前委員長に別れを告げた。



最後に、遺族を代表してケイ夫人より「去年六月合から一年間、なん組とか直ってほしいと家族で努力してきたが、七月に再入院、九月一日に帰らぬ人になってしまいました。関川も勤労千葉の方々と労働運動、三里塚空港反対、関西空港反対、富士問題を一生涯懸命取り組み闘い、短い一生ではありましたが充実した人生を送ることができました。ありがとうございます」と参加したすべての人にお礼を述べ追悼集会を締めくくった。